

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2772401770		
法人名	有限会社 ひまわり		
事業所名	グループホーム ひまわり		
所在地	大阪府枚方市氷室台1丁目14-20		
自己評価作成日	平成26年8月1日	評価結果市町村受理日	平成26年10月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク福祉調査センター		
所在地	大阪市中央区常盤町2-1-8 MIRO谷町 4階		
訪問調査日	平成26年9月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の住民とも散歩時など笑顔で挨拶し良好な関係を保つことが出来ている。自治会行事参加の継続(草刈など)・他施設との交流を通し、地域の方から季節の野菜の差し入れや、防災活動にも積極的に支援を頂け理解を得ている。 ・継続し地域住民の方も高齢者サポートセンターを通してホームに通われており機嫌良く過ごされています。 ・ホーム隣に管理者住居があり、緊急時俊敏に対応が行えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>代表者(管理者)の住居の隣にある「ひまわり」は高台の住宅街にある民家を改造し、今年11周年を迎えた。そこでは、利用者とスタッフが一丸となり、小さな家庭を作り、家族となって支え合いながら、楽しみや、生きがいを持って生活している。また入所までの本人の暮らしを大事にしなが、地域の方々や友人、知人との交流を続けることが出来るように職員が努めているのも特徴の一つである。地域も高齢化が進むなかで、今後の課題としては、氷室台自治会の「高齢者支援の会」の活動に事業者がどう連携していくかなど、地域密着サービス事業所としての役割を自覚してチャレンジしている事業所である。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『一人一人の個性を大切に』を理念に掲げ、朝礼時夜勤者からの引継ぎ前に職員で復唱し、共有を図りパーソンセンタード・ケアを実践する取り組みを継続し行われています。	「一人一人個性豊かに、心豊かに」が事業所の理念である。利用者の個性を尊重しながら、普段通りの暮らしを続けてもらえるように職員が協力して支援にあたっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のお店・美容院に行くこと、老人会に5名入会しており地域での行事の参加により交流が行われている。ゴミ捨て兼散歩は笑顔で挨拶し繋がりを大切にしています。	地域と共に生活する、地域との交わりを大切に考えている。地域福祉活動のイキイキサロンへの参加、自治会、老人会の行事に利用者と職員が積極的な参加を続けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	高齢者サポートセンターと家族様依頼により保険外で日中の受け入れは継続し行われている。地域で認知症介護を行っている家族からの相談も受けることがあり、運営推進会議で話しあうこともあります。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	各自治会様に入居者様の状態の変化・入退居・行事の報告などを行っている。施設側の悩み・問題点など議題としてあげサービス向上に努めています。	地域住民の高齢化も進んでおり、会議には自治会、老人会、民生委員等の地域福祉活動の関係者が出席して、認知症支援、地域の高齢者支援等について意見交換が行われている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村の福祉指導監査課・生活福祉室に質問・相談・報告を密に取り合いサービスの向上に取り組んでいます。	事業所と行政の担当窓口とは、利用者の公的扶助に関する相談や地域密着型事業所運営について報告・相談をするコミュニケーション関係が確立している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議において身体拘束の研修を年に1回以上行い、知識を高め取り組んでいる。家族了解のうえ帰宅願望の方、不穏な方への対応としてセンサーや防犯器具などの対応を行っています。	職員は身体拘束に関する介護知識を習得し、個々の事例ごとに家族とも相談しながら対応している。玄関の施錠についても一般家庭とまったく同じ対応であり、職員の日も行き届いている状態にある。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修を行い周知徹底に努めています。職員がストレスを溜めないよう管理者が(個別)に話し合いを持つ時間を設けています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援は1名継続し行われている。成年後見人制度を活用されている方もおられ職員もミーティングで勉強を行い理解している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間を取り説明を行っています。分かりにくい部分は補足説明を行っています。質問があれば、その都度説明し納得されるよう努め手続きを行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様からは電話で、運営推進委員会・介護相談員・ご利用者からの意見などを把握する機会を設けサービス向上に反映させている。	家族の来訪時には利用者の暮らしぶりを詳しく報告している。開設時から作成している「ひまわりだより」も127号にもなっている。たよりでは職員異動、行事予定、等が連絡されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼や職員会議・入居者様の午睡時などに管理者・職員で困ったこと・改善点などを話し合う場を設け反映するよう努めている。	朝礼やシフト交代時の引継、また職員会議を利用して意見や提案を聞き、話し合いながら風通しの良い職場運営に努めている。家族の職員への信頼度も高い。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修会や勉強会の参加を促し、資格取得者には手当での支給、職員の思いを聞き話し合い理解を得、やりがい・向上心を持ち働けるよう強めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症に関わる内外の研修参加を促し、職員間でも学べるよう工夫し自己研鑽の機会を設けています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域グループホームでの勉強会・催しに参加し地域包括センター主催の勉強会にも出向き、他施設見学によりサービスの向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所にいたるまで本人様の話を聞けるよう居宅・入院先に出向き、家族様とも連携を取りながらホームでの生活状況を説明し不安解消に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様の困り事・不安・意向などを理解し、思いを出し易い環境を整え生活層を含め受容し親身になり相談に応じるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族様から生活等について、情報を得るようにしており、必要に応じカンファレンスを繰り返し、職員間の連携を図りながら納得していただけるよう対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の身体・精神・趣味・特技・性格などを把握し、喜怒哀楽を共にし喜ばれることを共有し、利用者様から生活の知恵を学ぶ関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の現状を家族様に面会時・電話で報告し話し合い協力し信頼関係を構築しています。個人日誌・受診記録等も確認されサインを頂いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様や知人の訪問を歓迎し、新しい環境と地域の中でも交流の場を増やし、本人の希望により楽しみ支援として対応しています。地域の草刈にも参加し馴染みの関係が出来るよう努めています。	「入所までの生活を大切にし、家族、友人、知人との交流を続ける」支援と共に、新しい生活の中で育まれる交流も利用者の生きがいづくりとして支援している。	利用者個々を対象にした「おたのしみ支援」活動の継続を期待したい。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	各利用者様には維持機能に差はあるが、利用者様同士で関係が築かれていたり、職員が入るなどし共同生活の中で仲良く支え合いながら喜びを共有する支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	転居者の方に対しては、転居先に情報提供を行っています。また、転居先へ訪問する機会があるときには、面会をさせて頂き経過を伺うようにしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話・行動・表現などから利用者様の希望や思いを把握するよう努めています。カンファレンスを開催し検討する機会を設けています。	利用者の希望することを職員間で話し合っている。思いの確認が困難なケースでは、家族に相談するなどして情報収集してパーソンセンタードケア(本人本位)に努めている。	職員と利用者が集まって利用者の希望を聞く会が開かれて内容が記録されている。今後も継続することを期待したい、
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に家族様・本人様からモニタリングをしっかりと行い、居宅ケアマネからも情報収集しパーソンセンタード・ケアに役立っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	規則正しい生活の中で個々の能力に応じた過ごし方をしていただけるよう支援を行っている。生活リハビリの中でもさらに何か出来ないかをミーティングで話し合いを行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当職員によるアセスメントを基本に日常の観察や記録でカンファレンスを行い、家族様からの意向などを聞き取り、モニタリング・ケアプランに繋げています。	居室担当の職員によるアセスメントやケース記録を元にカンファレンスを行い、かかりつけ医の意見、家族の希望を聞いてケアプランの見直しにつなげている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づき・観察など個人記録・日報にしっかりと記録し、職員への申し送りを共有しカンファレンスを行い実践に反映するよう努め、介護計画の見直しに活かすようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われなない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の意向や必要性により地域ケアマネや他の事業所と連絡を取り、情報交換などを得て必要な支援が出来るように努めています。地域のサークルへは参加出来るようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治体の行事・サークル活動・他施設の行事参加や交流でホーム以外の生活の拡大に繋がるよう支援しています。認知症の方の日中の受け入れにより交流関係が拡大しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問医師の訪問往診により(状態報告する)連携を密に取り合い利用者様・家族様の希望に応じて治療が出来るよう支援を継続しています。26年4月より愛成クリニックへ変更。	今年4月より連携している医療機関による訪問診療が充実し、職員、利用者、と医師が協力した医療支援体制がとられている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月4回の訪問により健康管理・相談・助言が行われ24時間連絡体制が整えられ医師との医療連携体制は図られています。愛成クリニック訪問受診看護。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	重症の際、主治医の紹介病院に搬送する体制が取られています。ホームでは看取り体制が整い病院と連携し受け入れ対応を行います。愛成クリニック訪問受診看護。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医師・看護師・家族様・職員との連携から看取りのマニュアルに沿い、1年ごとに家族様へ意向を確認し、終末ケアに対する方針を決めて対応出来るよう努めます。	ホームでの看取りの経験がある。重度化の状態により事前に家族の意向を確認することを行っている。提携クリニックの医師の指示のもとに職員と家族が連携して看取り支援を行う体制を構築している、	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	市や地域主催の研修や勉強会へ参加するようにしており、リビング掲示板には、応急手当などのマニュアルを掲示し、朝礼の申し送り等職員の意識付けに努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホーム内で年4回の避難訓練実施。散歩やパトロール時に利用者様の方には非難場所を学習して頂き、校区や地域主催の災害訓練にも参加し近隣の協力体制強化にも努めています。個人持ちでベッドにオレンジタオルを設置。	今年1月よりスプリンクラー取り付け工事が始まり、完成している。事業所の避難訓練に近隣も協力している。校区内や自治会の防災活動にも積極的に参加している。近隣の協力体制が強みである。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	意義の必要性を認識し、言葉使いマニュアルを作成し会議で自己チェックをする機会を設け基本を忘れないように気をつけている。	利用者個人個人の尊厳に配慮した会話や接触の方法を職員はマニュアル等で研修すると同時に、時々基本に立ち返るように職員間で話し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の関わり方や支援を、振り返り確認すると共に、個別対応にて本人が自由に思いや希望等を表出したり、自己決定が出来るよう継続して努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各個人、希望する時間の過ごし方が出来るように対応しているが、今後も継続して努めていきます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	地域美容院を利用させて頂いているが、自身の好みや希望をを訴えられる関係が出来ており、日常ではマニキュアを塗ったりとおしゃれを楽しめるようにしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事当番や口腔体操の当番を決めており、メニュー記入、職員と一緒にコミュニケーションをとりながら調理、盛り付け、配膳をし、準備から片付け、出来る事をやっていただくよう努めています。	食事作りに利用者が役割(当番)を持って貰うようにしている。食事前の口腔体操も利用者が音頭を取る。このように食事関連する作業を生活リハビリとして上手に工夫されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	皆の嗜好を把握し、日の体調に配慮した摂取量水分量を確保し記録。必要により身体状況に応じたメニュー対応をし、地域の方に旬の野菜など頂き季節感を楽しみ摂取されています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	清潔を保ち、食事や会話を楽しめるよう、毎食後と就寝前の口腔ケアの促し準備の支援、かかりつけ歯科医との連携にて、必要な治療、メンテナンスの支援を継続しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、必要により記録から支援や援助方法を決定するようになり、個々に応じた対応の工夫を継続しています。	記録により利用者個人個人の排泄パターン、リズムを把握し、事前のトイレ誘導を行って自立したトイレでの排泄習慣が長く継続できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や散歩体操等便秘の方には腸の働きを助ける起床時コップ1杯の水分を飲用、ヨーグルトや繊維質の食材の摂取、腹部マッサージ対応し、必要に応じ下剤で調整しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本週3回の夜間入浴と、季節によりシャワー浴が可能であり、必要に応じて随時シャワー浴の支援を継続しています。	夜間の入浴サービスが行われている。一般家庭の浴槽と同じであり、本人が安心してゆっくり入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温や体調の状態により、安眠できるように支援、夏場はアイスノンを使用し、不眠の方には水分補給や傾聴、対話等に努め、個々の状態に応じた対応が出来るように努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋ファイルを作成、服薬保管時、準備時、服用時確認で誤薬防止に努めている。また、状態に応じて主治医に相談し、服薬変更時には申し送りや連絡ノートで周知徹底している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴から、趣味、嗜好品等の情報を得て、能力に応じた役割や楽しみへの参加や機会を提供出来るように支援し、買物等で嗜好品の購入等の対応を継続しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域や他施設の行事に参加や、希望により個人買物等の外出や話し合い、希望を聞き、支援をしています。また、家族にも外出の参加を呼びかけ、交流の機会を増やすようにしており、必要時、同行依頼も行っている。	外出行事に積極的に取り組んでいる。日常の散歩の他に、初もうでなどの季節の行事外出、自治会、老人会行事への参加、家庭菜園作り、ゴミだし等々、他に家族参加行事も企画・実施されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ADLの低下に伴い家族希望によりホーム預かり対応。外出時には、個人でお金を持って買物して頂けるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現在、手紙でのやり取りをされている方は居られず、本人や家族の希望で 電話の取次ぎ支援を継続している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	閑静な住宅地の為、不快な音は殆どなく、光はロールブラインド等で調整するようにし、安全面に配慮しながら 生活して頂けるように努めている。玄関には 季節の花、リビングには利用者の手作り作品等を飾り、四季を感じながら過ごしていただけるよう 工夫している。	普通の民家であり施設的な違和感がないので自然に気分が落ち着く。外の緑や人通りが目に入るリビングに利用者が集まって、お茶をしたり、会話を楽しんでいる。2階居室への階段は急であるがしっかり手摺が取り付けられており不安感はない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング以外にも椅子を設置するなど、状況に応じて自由に活動できるように場所の提供をしており、気分」転換や楽しみの場として利用できるように継続して対応しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各自の居室で本人らしく生活ができるよう、使い慣れた家具や写真や置物等を設置していただき、安全を配慮しながら居心地の良い安心感を与えられる居室になるよう工夫、対応を継続しています。	利用者が安心して過ごす場所として、室内を清潔に保たれ、嫁入道具であったらう桐箆箆を持込んでいる最高齢の利用者も居られる。昔からの暮しを継続支援する事業所の姿勢が伝わってくる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立に向けたADLに配慮した対応に努め、その人の残存能力を引き出すことが出来るように見守りや声掛け、役割を担う事で自信を得られるよう二対応。また、出来ない所を支援するようになっています。また、ホーム内の設備点検を定期的実施しています。		